

三田区蔵王権現社の会式が行われます

4月13日(土)、三田区の蔵王権現社で年に一度の会式が行われます。蔵王権現社は、三田集落の中でも高い位置にあり、あらぎ島や国の重要な文化的景観に選定されている三田・清水の農山村景観を一望することができる大変見晴らしの良い場所にあります。

蔵王権現信仰とは、修験道の開祖とされる役小角が、金峰山で修行中に感得した日本独自の仏「蔵王権現」に対する信仰です。蔵王権現は修験道の守護者とされ、平安時代以降には吉野から熊野地方に連なる大峰山の修験者たちによって全国各地に広められました。三田区では「蔵さん」と呼ばれ、厚く信仰されています。

三田区の蔵王権現社は、地元には伝わる記録によると、天正年間(1573~1592年)の再建と伝わり、この地域で古くから継承されてきた信仰空間として重要であることから、重要な文化的景観における重要な構成要素になっています。現在の社殿は、文政9年(1826年)に建立されたものであり、長年の風食によって色あせていますが、建物の各所に彩色が残り、建てられた当初は

華麗な社殿であったと考えられます。

会式は、13時頃から三田区活性化センターを出発し、3mほどの餅花竿を先頭に、蔵王権現の幟、お供えの餅を担いだ人々が行列をなして、神社までの坂道をゆっくりと練り歩きます。その後、鏡餅を神社へ奉納し、ご祈祷の後に供えの餅を投げる大餅

投げが行われる予定です。

三田区の蔵王権現社は、参拝すれば不思議と失せ物が見つかることで知られています。物がなくなつて出てこない方は、一度訪れてみてはいかがでしょう。



会式の様子(写真は平成30年)

※蔵王権現社付近には、駐車場がありません。お車でお越しの際は、あらぎ島展望所駐車場(三田461番地5 三田区活性化センター前)に駐車の上、徒歩にてお越しください。